

# 令和 2 年度事業報告

# 1. 公 1 軟式野球大会開催事業

## (7) 軟式野球大会開催事業

(1) 各種軟式野球大会の開催

下表のとおり、事業を終了した。

大会名		会期	開催支部	参加 チーム数	備考
天皇賜杯第 75 回全日本軟式野球大会 ENEOS トーナメント		10月31日(土) ～11月4日(水)	岡山県	56	静岡県・静岡ガス株式会社
高松宮賜杯第 64 回 全日本軟式野球大会	1 部	9月18日(金) ～21日(月)	東京都	32	感染症拡大のため中止
	2 部	9月4日(金) ～7日(月)	北海道	32	感染症拡大のため中止
高円宮賜杯第 40 回記念全日本学童軟式野球大会 マクドナルド・トーナメント		8月17日(月) ～23日(日)	新潟県	53	感染症拡大のため中止
文部科学大臣杯第 11 回全日本少年春季軟式野球大会日本生命トーナメント		3月21日(土) ～26日(木)	静岡県	56	感染症拡大のため中止
第 5 回全日本中学女子軟式野球大会 (SP トーナメント)		8月20日(木) ～26日(水)	京都府	未定	感染症拡大のため中止
第 37 回全日本少年軟式野球大会		8月16日(日) ～20日(木)	神奈川県	16	感染症拡大のため中止
第 75 回国民体育大会 (燃ゆる感動かごしま国体)	成年 男子	10月8日(木) ～12日(月)	鹿児島県	32	感染症拡大のため 2023 年に延期
第 42 回 東日本軟式野球大会	1 部	5月29日(金) ～6月1日(月)	三重県	28	感染症拡大のため中止
	2 部	5月8日(金) ～11日(月)	群馬県	28	感染症拡大のため中止
第 42 回 西日本軟式野球大会	1 部	5月22日(金) ～25日(月)	香川県	26	感染症拡大のため中止
	2 部	6月5日(金) ～8日(月)	広島県	26	感染症拡大のため中止
水戸市長旗 第 28 回東日本軟式野球選手権大会		10月30日(金) ～11月3日(火)	茨城県	28	感染症拡大のため中止
第 24 回 西日本軟式野球選手権大会		11月6日(金) ～9日(月)	島根県	27	感染症拡大のため中止
第 65 回 中部日本都市対抗軟式野球大会		11月6日(金) ～9日(月)	愛知県	13	感染症拡大のため中止
第 3 回全日本シニア軟式野球大会 (ドックラッセトーナメント)		6月6日(土) ～8日(月)	岡山県	未定	感染症拡大のため中止
スポニチ杯 第 4 回全日本軟式野球大会		未定	未定	4	感染症拡大のため中止
NPB ガールズトーナメント 2020		7月31日(金) ～8月6日(木)	愛媛県	未定	感染症拡大のため中止
日本スポーツマスターズ 2020		9月18日(金) ～21日(月)	愛媛県	32	感染症拡大のため中止
第 42 回 全国中学校軟式野球大会		8月17日(月) ～20日(木)	岐阜県	25	感染症拡大のため中止
第 42 回 全国スポーツ少年団軟式野球交流大会		8月6日(木) ～9日(日)	岩手県	16	感染症拡大のため中止

(2) 競技者の一元管理、登録事務の効率化を目的に導入予定の競技者登録システムは、業者選定を実施し、本格導入に向けて日本野球機構（NPB）と調整を実施した。（調整は継続審議中）

### (3) 寄付金関係

公益目的事業実施のために2企業より寄付を受けた。

- ① (株) エスエスケイ
- ② ヤング(株)

### (4) 助成金関係

次の事業実施に際し、3団体より助成金の交付を受けた。

- ① 選手強化事業交付金（日本オリンピック委員会）
- ② 少年野球振興事業助成（ミズノスポーツ振興財団）
- ③ スポーツ安全保険普及委託活動費（スポーツ安全協会）

### (5) 協賛金関係

次のとおり、2団体、5企業より協賛を受けた。

- ① 日本マクドナルド(株)より全日本学童大会の支部大会、およびマクドナルド・カップ大会の実施等に対し協賛を受けた。
- ② ENEOS(株)より天皇賜杯大会の全国大会、支部大会への協賛を受けた。
- ③ 全国労働金庫協会より、ろうきん杯実施支部への協賛を受けた。
- ④ ミズノ(株)より全軟連に協賛を受けた。
- ⑤ (株)アシックスジャパンより全軟連に協賛を受けた。
- ⑥ 日本生命保険相互会社より全日本少年春季大会へ協賛を受けた。
- ⑦ (一社)日本野球機構よりNPBジェットナメントへの協力に対し協賛を受けた。

### (6) 協賛金・助成金交付

次のとおり、協賛金・助成金を交付した。

- ① 47支部に対し、マクドナルド協賛金を交付
- ② マクドナルド・カップ大会を実施した22支部に対し、助成金を交付
- ③ 47支部に対し、ENEOS協賛金を交付
- ④ 天皇賜杯大会開催県の協賛協力金としてENEOS協賛金を交付
- ⑤ ろうきん杯を実施した2支部に対し、助成金を交付
- ⑥ 新型コロナウイルス感染症対策特別支援として47支部に助成金を交付
- ⑦ (公財)野球殿堂博物館へホームページリニューアルのための助成金を支出した。

### (7) ドーピング検査の実施

天皇賜杯第75回大会にてドーピング検査(8検体)を実施し、全て陰性であった。

## (イ) 審判員等養成事業

下表(1)、(2)事業を下記の通り、実施した。(3)、(4)の講習会、研修会は新型コロナウイルス感染拡大の影響により開催を中止した。

### (1) 全国審判技術研修員講習会

対象地区	日 程	場 所	受講者	修了者
全 国	2月22日(土)～3日間	埼玉県・さいたま市、川口市	46名	14名

### (2) 全国審判技術指導員研修会(ブロック別指導員)

対象地区	日 程	場 所	受講者
北海道・東北地区	2月29日(土)～2日間	宮城県・仙台市	18名
関 東 地 区	2月29日(土)～2日間	埼玉県・さいたま市	22名
北信越・東海地区	2月29日(土)～2日間	岐阜県・大垣市	30名
近畿・中国・四国・九州地区	2月29日(土)～2日間	岡山県・岡山市	48名

### (3) 審判ブロック講習会(ブロック別)

対象地区	日 程	場 所	備考
北 海 道	5月22日(金)～3日間	北海道・小樽市	感染症拡大のため中止
東 北	3月20日(金)～3日間	福島県・福島市	感染症拡大のため中止
関 東	3月13日(金)～3日間	神奈川県・厚木市	感染症拡大のため中止
北 信 越	10月23日(金)～3日間	石川県・金沢市	感染症拡大のため中止
東 海	11月13日(金)～3日間	三重県・津市	感染症拡大のため中止
近 畿	11月21日(土)～3日間	奈良県・橿原市	感染症拡大のため中止
中 国	3月20日(金)～3日間	山口県・岩国市	感染症拡大のため中止
四 国	10月23日(金)～3日間	高知県・高知市	感染症拡大のため中止
九 州	3月13日(金)～3日間	福岡県・久留米市	感染症拡大のため中止

### (4) 全国審判技術指導員スキルアップ研修会

対象地区	日程	場所	備考
全 国	12月5日(土)～2日間	埼玉県・伊奈町	感染症拡大のため中止

## (ウ) 公認軟式野球規則制定・頒布及び公認野球規則頒布事業

### (1) 競技者必携

支部その他に、61,017部を有償、無償で37部を頒布した。

### (2) 公認野球規則

支部、その他に47,273部を有償、無償で33部を頒布した。

## 2. 公2 軟式野球競技を普及するための助成及び広報事業

### (7) 各種軟式野球大会普及促進助成事業

#### (1) 関係団体助成金

軟式野球競技普及に対する助成金として下記6団体に交付した。

- ① 全日本大学軟式野球協会
- ② 全国高等学校定時制通信制軟式野球連盟
- ③ 全日本女子軟式野球連盟
- ④ 全国専門学校野球連盟
- ⑤ 全日本還暦野球連盟
- ⑥ アオダモ資源育成の会

#### (2) 各種全国大会等後援関係

軟式野球の全国的な組織を主催者とする団体等に対し、以下の5事業を後援した。

- ① 全日本シニア軟式野球選手権大会
- ② 学童軟式野球全国大会ポップアスリートカップ星野仙一杯
- ③ プライドジャパン甲子園大会 2020
- ④ PRIDE JAPAN 少年野球全国選抜大会
- ⑤ ワールドマスターズゲームズ 2021 関西 徳島県オープン競技軟式野球大会

### (イ) スポーツ指導者養成事業

#### (1) 日本スポーツ協会公認コーチ3 養成軟式野球専門科目講習会

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、集合講習会を中止とし、実技カリキュラム以外をオンライン・オンデマンド形式にて開催した。

受講生 66名（専門科目修了者は1名）を集め実施し、全日程を終了した。

オンライン講習会前期：11月28日（土）～29日（日）

オンライン講習会後期：12月18日（土）～19日（日）

オンデマンド配信：12月23日（水）～1月11日（月）

#### (2) 成長期のスポーツ障害予防・指導者講習会

令和1年度成長期のスポーツ障害予防・指導者講習会を、令和2年2月にチーム指導者及び連盟役員に対し下表のとおり実施した。令和2年度成長期のスポーツ障害予防・指導者講習会は9ブロック10会場で開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大により開催を中止した。

\* 令和1年度スポーツ振興くじ助成事業として開催

ブロック	支部	日 程	場 所	受講者
東 海	岐 阜	令和2年2月2日（日）	大垣市情報工房	363名
関 東	東 京	令和2年2月8日（土）	国立刈込公園記念青少年総合センター	61名
東 海	三 重	令和2年2月9日（日）	農業屋コミュニティ文化センター	78名
九 州	長 崎	令和2年2月9日（日）	アリーナかぶとがに	144名
東 北	福 島	令和2年2月15日（土）	福島県青少年会館	54名

### (3) 中学校部活動軟式野球指導の手引き

スポーツ庁発信の「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」に基づき、中学校部活動軟式野球指導の手引きを発刊し、47都道府県中体連軟式野球競技部を通じ、約8,300校の加盟校への配布を行った。あわせて47支部への配布を行った。なお、日本スポーツ協会のホームページ上でも手引きのデータを公開した。

### (4) 助成金

- ① 日本スポーツ協会より、スポーツ指導者養成事業交付金（R1年度分）、公認コーチ養成専門科目講習会委託金（R1年度分）の助成を受けた。
- ② 日本スポーツ振興センターより、スポーツ振興くじ助成金（R1年度成長期のスポーツ障害予防・指導者講習会）の助成を受けた。

## (ウ) 広報活動事業

### (1) 連盟ホームページの活用

各種全国大会における動画ならびに一球速報の配信は、感染症拡大の影響により天皇賜杯大会以外の大会を中止としたことが影響し、実施しなかった。なお、学童部の競技者の障害予防目的でストレッチ動画を制作し、特に活動自粛期間でも各自が学び、習得可能なコンテンツとして、日本マクドナルド株式会社と連携し、配信を行った。

### (2) 広報誌の発行

連盟広報誌として、全軟連 News の発刊を行った。内容は、軟式野球の未来構想、球数制限、障害予防を中心に各種全国大会結果、各種事業のトピックスとし、配布対象は、支部ならびに学童部登録チーム宛てとした。また、ベネッセ・コーポレーションの協力を得て、学童部および少年部の広報誌をそれぞれ1回ずつ発行、各都道府県支部ならびに中体連の協力のもと、登録チームへ配布を行った。配布に際し、広報活動事業に対してベネッセ・コーポレーションより協賛を得た。

### (3) Facebook、Instagram、YouTube による情報発信

各種大会、組み合わせ抽選会、講習会等の連盟の事業活動を、HPによる発信を補完する形で、これまで以上に迅速な情報発信を行った。なお、Facebook、Instagramに加え、新たに全軟連公式 YouTube チャンネルを開設し情報発信の範囲を広げた。

## 3. 収 1 野球用具検定事業

公認ボールの普及促進のため、支部公認球購入費助成として32支部へ助成金を交付した。

## 4. 収 2 不動産賃貸事業

軟式野球会館の軟式野球会館の1階、2階、5階スペース、及び駐車スペース3台分を賃貸。軟式野球会館の外ガラス窓研磨を初めて行った。

## 5. 収3 物品販売事業

役員帽子、ベルト、ワッペン等の制定物品を販売した。

## 6. その他連盟が推進する事業・活動

### (1) 職業野球退団者の本連盟復帰者

支部より15名の申請があり、資格審査の結果全員復帰を認めた。

令和2年12月末までの復帰者総計589名。(40歳以上も含む)

NO.	支部	氏名	最終球団
576	福井	戸田 亮	オリックス・バファローズ
577	静岡	木村 聡司	広島東洋カープ
578	香川	松澤 裕介	読売巨人軍
579	兵庫	長井 良太	広島東洋カープ
580	千葉	野川 拓斗	横浜 DeNA ベイスターズ
581	岐阜	山田 大樹	東北楽天ゴールデンイーグルス
582	東京	高木 伴	オリックス・バファローズ
583	東京	今浪 隆博	東京ヤクルトスワローズ
584	岡山	小杉 陽太	横浜 DeNA ベイスターズ
585	東京	川上 竜平	東京ヤクルトスワローズ
586	沖縄	大嶺 翔太	千葉ロッテマリーンズ
587	滋賀	竹岡 和宏	福岡ソフトバンクホークス
588	兵庫	東 弘明	オリックス・バファローズ
589	大阪	橋本 良平	阪神タイガース
590	大阪	上園 啓史	阪神タイガース

### (2) 表彰関係

#### ① 表彰委員会規程による表彰

令和2年度の功労者(15名)の皆様を各所属支部において表彰する。

ブロック	人員	受賞者名
北海道	1	中野 廣志 (北海道)
東北	2	元木 三十志 (山形) ・ 遠藤 喜志雄 (福島)
関東	2	萩原 賢一 (群馬) ・ 山口 宏 (神奈川)
北信越	1	久保田 吉汎 (新潟)
東海	1	鈴木 敏夫 (愛知)
近畿	2	飯田 良太郎 (大阪) ・ 田伏 英世 (和歌山)
中国	2	藤井 彰 (岡山) ・ 北村 重政 (鳥取)
四国	2	平田 信行 (愛媛) ・ 柏原 啓一 (高知)
九州	2	陶山 裕介 (長崎) ・ 後藤 一彦 (大分)
計	15	

② 読売新聞社主催 令和2年度第70回日本スポーツ賞

新型コロナウイルス感染症の影響により、各競技団体における2020年シーズンの国内外の大会が軒並み中止または延期になっていることから、2020年度の開催が見送られた。主催者は、今後の開催は、推薦対象期間を2019年12月から2021年11月の2年間とすることで検討している。

(3) 開発途上国への軟式野球用具の寄贈について

例年複数の野球途上国宛に寄贈を行っているが、新型コロナウイルス感染症の影響により、寄贈は見送った。外務省のスポーツ外交推進事業（器材輸送支援事業）においては、ミャンマー向けの寄贈に採択をされたが年度内の寄贈は控え、2021年に対応する予定としている。

(4) ワールドマスターズゲームズ2021 関西大会 参加要請活動

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、参加要請に係る訪問活動が実施出来なかった。

また、ワールドマスターズゲームズ2021 関西大会は、東京オリンピック・パラリンピックの延期及び新型コロナウイルス感染拡大により、2021年度開催では、大会理念に基づく世界大会の開催が極めて困難と判断し、2022年5月13日～29日の開催となった。

(5) BFA U12 アジア選手権について

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、暫定的に2021年3月28日～4月3日の期間で開催予定であったが、国際的な渡航制限や各地域で新たな症例が確認されていることなどを踏まえ、選手、コーチ、大会に携わる全ての参加者の安全を考慮し、大会の中止が決定された。